

正定寺寺報

◎ 仏さまの勉強会



ズービニヤカメ
ニニニニニ

五月三十一日の神栗地区をかわきりに向船場地区・竹の下地区・吹原地区・尾浦地区・市屋敷地区と壇家の婦人を対象に勉強会が意欲的に開かれています。

この企画は総代会が中心になって、日常の疑問点など仏式のわからないところをすすんで勉強しようと計画された布教活動で各地区とも総代さんが壇家の婦人に呼び掛け、総代さん宅に和尚や総代会寺務局と一緒に、仏壇のまつり方に始まり・禅宗の經典の紹介・葬儀の手順などあらゆる問題を座談会方式で説法しております。

今まで知らなかった事や又、不思議な習慣など様々な意見や質問がとびだす意義ある勉強会です。

お盆が過ぎましたら各地区とも是非勉強会を開いて下さい万障繰り合せて参ります。

《お盆参りの日程》

月・日	地区名
八月九日 (土曜日)	吹原・中道・立長・野の内・堂師・市屋敷・
八月十日 (日曜日)	江河内・間庭・仁所倉・中津留・園・竹の下・ 下城・岸の上・上の地・細川内・
八月十一日 (月曜日)	向船場・川又・神栗・神の原・ 内水・杭の内・椀ヶ原・
八月十二日 (火曜日)	久留須・大鶴・羽蟻・横川・黒岩・柚の原・
八月十三日 (水曜日)	迎え火 佐伯・尾浦・
八月十四日 (木曜日)	国東・別府・大分・津久見・ 日向・延岡・宇目・
八月十五日 (金曜日)	前日分までにお参り出来なかった檀家と初盆の各家
八月十六日 (土曜日)	送り火

《新仏の各家》

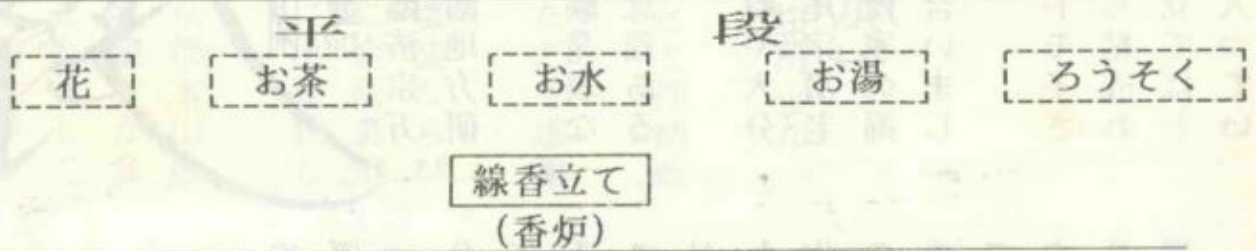
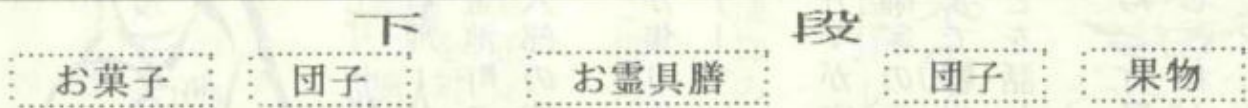
- * 御手洗沢吉家・椀ヶ原① * 山本源義家・尾浦③ * 竹下正家・竹の下⑧
- * 河野逸家・江河内⑩ * 染矢朝子家・佐伯⑤ * 志賀幸雄家・柚の原④
- * 飛田芳雄家・杭の原② * 岡部勝家・国東 * 矢野晴雄家・道の内⑦
- * 鳴海由久家・尾浦⑪ * 富高九助家・尾浦⑫ * 戸高小恵子家・大鶴⑥
- * 岡本みどり家・竹の下⑨ * 柳井順一郎家・細川内③

正定寺初盆十四各家

※日程に従いお参りするつもりですが天候の具合や差し支えで多少の変更があるかも知れませんご了承下さいませ。

尚、お盆の詳しいおまつり方は『お盆のしおり』を参照下さい。

【お盆を迎える仏壇のまつりかた】



座布団



正定寺の宗旨でのまつり方です。このまつり方に灯籠菓子などお盆のときだけ飾るものを供えます。

線香やろうそくなどは新しいものを又、線香立ての灰もきれいにします。年に一度のご先祖様のお帰りでですからご仏壇をきれいにしてお壊れかけている位牌や仏具はお帰りのときまでに整えておきたいものです。

また、和尚さんがお参りするときはなるべく一緒にお参り致しましょう。

◎第八回妙心寺花園

地方研修△云婦人部

去る、七月十九日大分市金池町の臨濟宗万寿寺で東九州妙心寺花園婦人部の花園地方研修会が開催されました。

各地区から大勢の壇徒婦人が集り体験発表など〃禅のある生活〃を研修テーマに意義ある研修会が開かれました。

午前十時より四百人という方々が宮崎や大分各地区から集り万寿寺僧堂師家の西尾宗滴老師の講演に始まり午後三時まで禅宗檀家の婦人としての役割や心がけなどを話し合いました。

正定寺からも武田フサエさん・竹尾トモ子さん・深田喜久子さんが参加しこれから結成れる正定寺婦人部の活動に少しでも役立てばと真剣な眼差しで研修会の発表に聞き入っていました。



ました。

既に、地区総代様から檀家の皆様にご連絡あったことと思いますが、（一部の地区ではお盆過ぎに伝達予定）布教活動の一端として本年度より正定寺檀家の中から婦人部を組織することになりました。

この婦人部は、正定寺年中行事の参加に始まり、茶道・華道・書道・精進料理の研究などが宗旨である禅宗が日本に伝えた数々の文化を進んで学んでいただくために作られるもので、お寺と総代会が全面的に援助して日常生活に禅宗の信条を生かしていただくものです。

すでに、この婦人部の募集をすすめています。是非応募して下さい、応募要領は各地区総代様か正定寺にご連絡下さい。



御案内状

「京都紅葉の旅」

京都都本山山参拝と観光

時下大火流金の候、

貴家ご一同様には益々御清祥のことと拝察致します。

平素正定寺の法灯護持にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、本年十一月七日より正定寺壇徒ならびに縁者の方々（四十五名）を対象に企画募集、日本交通公社の「京都紅葉の旅」に出発致します。

この企画は昨年四月に行われた「京都本山妙心寺六百五十年記念参拝」のあと希望者が多くこの度正定寺だけの団体で企画されました。今回は、四泊五日の日程で大型旅客船サンフラーにて出発、京都名勝の寺院を拝観（八

寺院）・祇園おどり・秋の御所拝観・京都ならではの、普茶・鉄鉢・精進と料理も観光も盛り沢山の旅です。

また、嵐山では年一度の紅葉祭の最中で一生の思い出に残る旅と存じ上げます。

募集以来すでに十数名の方々の申し込みを戴いております。

お誘い合せの上是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

申し込み要領は、正定寺に直接申し込みるか、あるいは地区総代様にご連絡下さいませ。

旅費は六万五千元です。（交通費・宿泊費・食事・拝観料・保険・供養料・全て含む）

各位様



《総代名簿一覽》

護持会	総代名	地区名	電話番号	檀家戸数
会長	久保田弘	大鶴	2459	20戸
副会長	高須賀芳包	久留須	2020	21戸
副会長	柳井主税	市屋敷	3202	10戸
会計	尾形利勝	神之原	2427	12戸
事務局	竹下正	竹之下	3173	12戸
役員	武田守	神栗	2406	16戸
役員	水久保光夫	中津留	3126	9戸
役員	小野浩伸	細川内	2692	12戸

監査	加藤太郎	岸之上	2720	20戸
監査	赤尾清人	黒岩	3340	7戸
	小野宗仁	内水	2752	12戸
	飛田和政	椀杭	2743	20戸
	小野健男	上之地	2677	17戸
	岡田伊勢夫	袖之原	2668	17戸
	大竹昭二	羽蟻	2462	4戸
	高橋仁	吹原	3281	7戸
	柳井道則	中道	2305	11戸
	後藤武士	立長	3252	13戸
	川野貴重	野々内	3250	4戸
	岩崎徳孝	堂師	3226	12戸
	吉田喜久間	向船場	3187	6戸
	吉田寿	江河内	3017	12戸
	島田清	横川	2475	3戸
	仲宮哲男	佐伯市	09722-2-6579	15戸
	鳴海幸太郎	尾浦	09724-5-0231	18戸
		25地区		310戸

昭和61年7月31日現在

★現総代さまには、以前の総代様に増して正定寺三百余軒の代表として法灯護持のため精進して戴いております。人の御世話は大変な仕事です、偏に個々総代さまの仏心厚い信仰のたまものと寺院一同感謝しております。

各地区壇信徒の皆様にも総代さまに今まで以上のご協力をお願い致します。